

2023年1月30日
フューチャーアーキテクト株式会社

フューチャーアーキテクト、島根銀行のDX推進を支援 2025年の本稼働向け「次世代バンキングシステム」2行目の導入

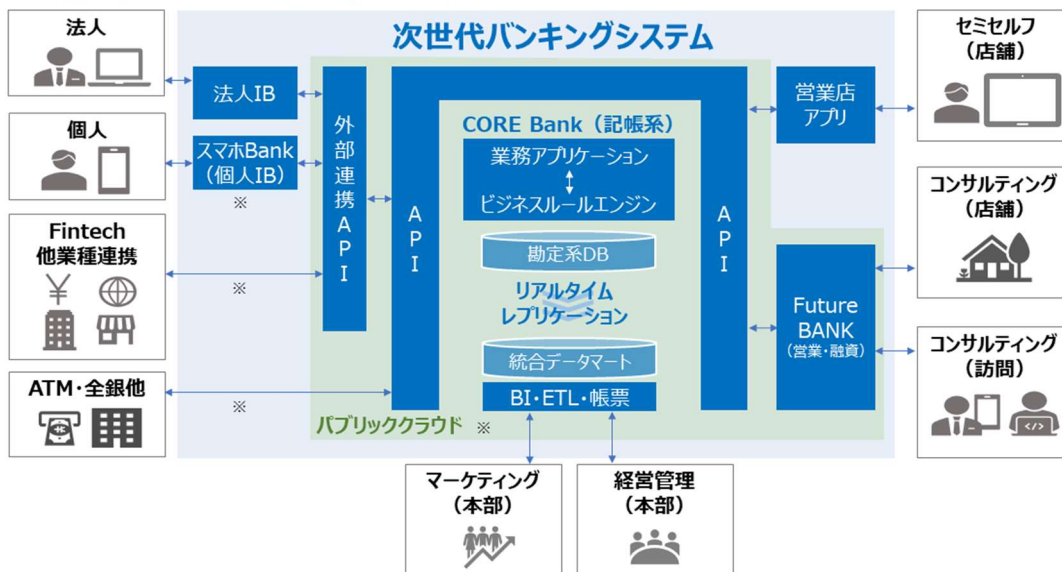
フューチャー株式会社(証券コード:4722)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:神宮由紀、以下フューチャーアーキテクト)は、SBIホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:北尾吉孝)の子会社であるSBI地方創生バンキングシステム株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:森田俊平)との業務提携に関する基本合意に基づき同社に提供する「次世代バンキングシステム」が、株式会社島根銀行(本店:島根県松江市、取締役頭取:鈴木良夫、以下島根銀行)に導入されることを本日発表いたします。

「次世代バンキングシステム」の導入を決定した地域金融機関は、島根銀行で2行目です。導入1行目となる福島銀行は2024年の本稼働を目指しプロジェクトを推進中ですが、島根銀行では福島銀行でのプロジェクトノウハウをベースに開発期間の短縮と効率化を実現し、2025年の本稼働を目指します。

島根銀行は2022年4月に開始した新中期経営計画において、パラダイムシフトをはかるための主要な戦略方針として「抜本的な業務改善」を掲げています。フューチャーアーキテクトは、島根銀行のIT戦略パートナーとして、銀行の業務・システムの理想像とともに描き、SBI金融クラウド上に「次世代バンキングシステム」を構築することで、新サービスの展開や営業力強化、業務効率化へ向けた「抜本的な業務改善」を支えます。

「次世代バンキングシステム」は、最新のテクノロジーを用いてゼロベースで最適を追求したクラウド型基幹系業務システムです。フューチャーアーキテクトがこれまで全国30行以上の地域金融機関の改革を支援してきた実績とノウハウをもとに、社会のデジタル化が加速するなかで地域金融機関に求められるバンキングサービス全体を再定義しました。最大の特長は、業務プロセスを整理して勘定系コア機能をシンプルにし、マイクロサービスアーキテクチャによって、ビジネスの変化に柔軟かつスピーディに対応できるよう設計している点です。また、各システムに分散する顧客情報を一元化することで、リアルタイムデータを活用した経営戦略の施策立案やサービスの拡充をはじめ、店舗業務のデジタル化によるコスト削減や業務効率化を図ります。さらに、バンキングサービスのAPI化によってアクセスチャネルの多様化を可能にします。

■ 次世代バンキングシステム イメージ図



※本プロジェクトでは「スマホBank(個人IB)」「Fintech連携API」「ATM・全銀等の対外接続系」「パブリッククラウド」はSBIホールディングスの提供です。

フューチャーアーキテクトは、科学的なコンサルティングアプローチと技術力で地域金融機関のビジネス変革や経営戦略の実現をITと経営の両面から支援し、今後もお客様とともに新たな価値を創造します。

■次世代バンキングシステムの主要システムと特長

次世代バンキングシステムは以下の主要システムで構成されています。勘定系システムのみならず、情報系システム、営業・融資支援システム、営業店システム、インターネットバンキングシステム等を包含し、地域金融機関に求められる業務機能の広範を有しています。

●主要システム

- ・スリムかつコンパクトな記帳系『CORE Bank』
- ・リアルタイムデータを提供する『統合データマート』
- ・営業・融資業務の効率化を実現する『FutureBANK』
- ・完全ペーパーレスの店舗業務を支える『営業店アプリ』
- ・顧客チャネル拡大に柔軟に対応する『外部 API 基盤』
- ・スマートフォンやタブレットに最適化された先進的 UI を提供する『個人・法人インターネットバンキング』

●特長

1. ビジネスの変化に柔軟かつスピーディに対応

勘定系コア機能をシンプルかつスリム化し、変化に強いマイクロサービスアーキテクチャに最適な設計を実行。銀行ごとに異なるビジネスルールや商品、サービスをルールエンジン化することで、コアプログラムに修正を加えることなく、新しいサービスの拡充や制度変更に対応。

2. 営業・融資業務をワンストップに。店舗業務をデジタル化

業務領域ごとに分散していたシステムやツールを統合し、営業店と本部が業務をワンストップで遂行できる環境を整備。営業店における業務を紙からデジタルベースの業務に変革し、印刷コストの削減や店舗の省スペース化をはじめ業務効率化を実現。

3. リアルタイムデータを活用したマーケティングや経営戦略策定を支援

『CORE Bank』や『FutureBANK』で管理するデータを『統合データマート』にリアルタイム連携。マーケティングや経営レポートなど目的にあわせたデータ利活用を可能とし、業務効率化や機動的な経営戦略の推進をサポート。

4. バンキングサービスの API 化によるデジタルチャネルの拡充

全てのバンキングサービスが API で提供可能。『個人・法人インターネットバンキング』や『外部 API 基盤』を介して、お客様や Fintech 事業者をはじめとする提携事業者に様々な金融サービスを提供し、アクセスチャネルを多様化。

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 小松
https://www.future.co.jp/architect/contact_us

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報担当：石井、西田
TEL：03-5740-5721 E-mail：f_pressroom@future.co.jp